令和5年度 地域クラブ全中参加数

2024.3.1

		男 子				女 子			
		チーム参加数	総数	個人参加数	総数	チーム参加数	総数	個人参加数	総数
1	陸上競技	0	48	26	888	1	48	15	419
2	水泳競技	22	48	47	424	28	59	58	357
3	バスケットボール	0	24			0	24		
4	サッカー	0	32						
5	ハンドボール	2	23			2	23		
6	軟式野球	0	25						
7	体操競技	0	14	3	99	1	14	8	100
8	新体操					0	28	13	47
9	バレーボール	3	36			1	36		
10	ソフトテニス	5	25	10	64	5	25	4	64
11	卓球	1	39	7	114	0	39		114
12	バドミントン	4	24	S=5 W=5	S=36 W=36	2	24	S=6 W=5	S=36 W=36
13	ソフトボール	4	16			4	28		
14	柔道	2	48	29	348	6	48	35	348
15	剣 道	0	48	3	96	0	48	2	96
16	相 撲	13	48	39	142				
	小計	56	498	164	2,175	50	444	137	1,545
17	駅 伝	1	48			1	48		
18	スキー	0	17	19	690	0	16	5	567
19	スケート			26	258			12	214
20	アイスホッケー	1	16						
	小青十	2	81	45	948	1	64	17	781
総計		58	579	209	3,123	51	508	154	2,326

<男子3位以内>(個人なし)	<女子3位以内>			
水泳競技=400mリレー2位・3位 400mメドレーリレー1位・3位	水泳競技=400mリレー2位 400mメドレーリレー2位			
バレーボール=2位	新体操=団体2位			
バドミントン=団体2位・3位				
ソフトボール=1位				
相撲=団体3位				

都道府県中学校体育連盟会長 様 事務局 御中

> (公財) 日本中学校体育連盟 会長 齊 藤 正 富 (公印省略)

地域クラブ活動に所属する中学生の都道府県(市区町村)を またいだ大会参加の規制緩和について(依頼)

平素より本連盟の運営に対し、ご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和5年度における地域クラブ活動所属の中学生の全国中学校体育大会への参加については、 令和4年6月13日に全国中学校体育大会開催基準に参加資格の特例を設け、さらに各競技部細 則を付記し、参加を承認してきたところです。登録については、各都道府県中学校体育連盟に判 断をお願いし、適正に取り組んでいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

さて、令和5年度全国中学校体育大会夏季大会は、四国ブロック4県で16競技を開催され、ほとんどの競技で地域クラブ活動に所属する中学生の参加も見られました。その一方で、都道府県中学校体育連盟の登録及び大会への参加にかかる課題も顕在化しました。その一つが、標記の事案となります。

具体的には、所属校のある都道府県(市区町村)と異なる都道府県(市区町村)にある地域クラブ活動からの大会参加を認めない、いわゆる「都道府県またぎ禁止」「市区町村またぎ禁止」を定めた都道府県(市区町村)中学校体育連盟の大会参加規程の取扱いとなっています。(関東及び北信越の一部の都県中学校体育連盟は除く。)

このことについては、各方面からのより一層の参加資格の拡大の声などを勘案し、本年9月にスポーツ庁から本連盟に対し、国・自治体における部活動改革の取組(自治体を超えた広域的な取組を含む)なども踏まえ、令和6年度に向け、競技部細則の見直しとともに、都道府県や市区町村をまたいだ大会参加が可能となる対応についても検討するよう依頼がありました。(別添参照)

本連盟としましても、地域クラブ活動に所属する中学生の大会参加の機会確保の観点から、少なくとも、在籍校に希望する部活動がないこと等の場合には、都道府県や市区町村をまたいだ大会参加が認められるよう、各都道府県中学校体育連盟において御協議いただき、御判断いただくようお願い申し上げます。

また、都道府県中学校体育連盟におかれては、域内の市区町村等の中学校体育連盟においても 同様に御協議・御判断いただくよう周知願います。

なお、別途、スポーツ庁においては、令和5年9月27日に開催した都道府県・指定都市スポーツ主管課長会議において、都道府県や市区町村の行政として何らかの制限を課している場合には、 令和6年度に向け、都道府県や市区町村をまたいだ大会参加が可能となる対応について検討を依頼していることを申し添えます。